

J.LEAGUE™ NEWS



©J.LEAGUE PHOTOS

鹿島をPK戦の末に下し、新シーズンに幸先のいいスタートを切った名古屋。優勝カップと優勝賞金3,000万円が授与された

Jリーグの2011シーズンが開幕

「FUJI XEROX SUPER CUP 2011」で名古屋が15年ぶり2度目の優勝

ファン・サポーターが待望していたJリーグの2011シーズンが幕を開けた。2月26日に日産スタジアムで開催された「FUJI XEROX SUPER CUP 2011」で、新たな戦いがスタートした。同大会では、2010 Jリーグチャンピオンの名古屋グランパスと、第90回天皇杯全日本サッカー選手権大会に優勝した鹿島アントラーズが対戦。互いに譲らぬ白熱した攻防を繰り広げ、90分間を1-1のスコアで終了した後、名古屋がPK戦を3-1で制し、15年ぶり2度目の優勝を飾った。(2~3ページに関連記事)

J.LEAGUE™ OFFICIAL SPONSORS

Calbee

Canon

KONAMI

AiDEM

Coca-Cola

東京エレクトロン

McDonald's

J.LEAGUE™ 100 YEAR VISION PARTNER
朝日新聞

LEAGUE CUP SPONSOR
ヤマザキナビスコ

SUPER CUP SPONSOR
FUJI XEROX

J.LEAGUE™ OFFICIAL EQUIPMENT PARTNER
adidas

J.LEAGUE™ OFFICIAL SUPPLIER
Johnson-Johnson

J.LEAGUE™ OFFICIAL BROADCASTING PARTNER
スカパー!

SPORTS PROMOTION PARTNER
0000



FUJI XEROX SUPER CUP 2011

名古屋がPK戦で勝利。守護神が大活躍

「FUJI XEROX SUPER CUP 2011」が2月26日、日産スタジアムで開催され、名古屋グランパスが15年ぶり2度目となる優勝を飾った。昨シーズンのビッグタイトルを獲得した強豪の対決は、互いに譲らぬ接戦となり、90分を終えて1-1のタイスコア。大会規定により延長戦は行われず、PK戦を3-1と制した名古屋がタイトルを獲得した。

2011年2月26日 13:37キックオフ 日産スタジアム

名古屋グランパス 1-1 鹿島アントラーズ (PK3-1)

【得点経過】
54分 1-0 (名)増川 隆洋
66分 1-1 (鹿)野沢 拓也

【入場者数】3万5963人
【主審】西村 雄一
【副審】相楽 亨／田尻 智計
【第4の審判員】今村 義朗



名古屋の先制ゴールをヘディングで決める増川(5番)

一進一退の攻防の均衡が破れたのは、後半に入った54分だった。鹿島アントラーズ陣内の中盤でFKを得た名古屋グランパスは、清水エスパルスから新加入のMF藤本淳吾がゴール前に浮き球を送る。このボールを191センチの長身DF増川隆洋がヘディングで合わせ、ゴールネットを揺らした。

その後は、鹿島が反撃に転じた。そして66分、MF野沢拓也がFKを直接決めて同点に追いつく。85分にはゴール右隅を狙った野沢のシュートが、名古屋GK楢崎正剛の素晴らしいセ

ービングに阻まれた。

決着は前年の大会に続き、通算8度目のPK戦に委ねられた。ここで再び見事な守りを見せたのが楢崎。鹿島の4選手のキックのうち、3本をセーブして勝利に貢献した。特に鹿島の3人目のキックは、左に飛んで両手でキャッチ。PK戦のキックは通常、はじいて防ぐだけで十分。楢崎は「たまたま」と冷静に振り返ったが、「キッカーにはいい影響があったのでは」(DF阿部翔平)と、チームを鼓舞するプレーだった。

昨シーズンのJリーグ最優秀選手賞に輝いた守護神の活躍で好スタートを切った名古屋のストイコビッチ監督は「試合には満足している。(リーグ戦の)開幕に向けて、いい準備もできた。今シーズンも強い(名古屋)グランパスをお見せする」と誓った。

一方、鹿島も大会史上最多となる6度目の優勝を惜しくも逃したものの、オズワルド・オリヴェイラ監督は試合内容に手応え。興梠慎三、大迫勇也という若いFW陣が積極果敢に相手ゴールを狙い、「やりたい形をつくり、主導権を握って試合を進めることができた。決定的チャンスの数では上回った」と振り返った。名古屋からのJリーグ王座奪還を目指す今シーズンも、有力な優勝候補といえるだろう。



名古屋の藤本も中盤で落ち着いたプレー。右は鹿島の犬迫



キックオフ前に健闘を誓い合う名古屋のストイコビッチ監督(左)、鹿島のオズワルド・オリヴェイラ監督(左から3人目)



鹿島は野沢(左から2人目)がFKを直接決めて同点に追いつく



90分の試合中、そしてPK戦でも素晴らしい守備を披露した楢崎。ストイコビッチ監督も「日本で最高のGK」と絶賛した



期待の逸材がはつらつプレー

U-18 Jリーグ選抜と日本高校サッカー選抜の選手たちは、随所に才能の片りんを見せてくれた

「FUJI XEROX SUPER CUP 2011」に先立ち、U-18 Jリーグ選抜と日本高校サッカー選抜(第89回全国高校サッカー選手権大会の大会優秀選手より選抜した選手で構成されたチーム)による「NEXT GENERATION MATCH」が行われた。ともに、将来性にあふれた高校生年代の選手をそろえたチームで、随所に巧みなテクニックや連携プレーを披露し、早くからスタジアムに足を運んだ入場者から盛んな声援が送られた。

試合は33分にU-18 Jリーグ選抜が先制。カウンターアタックで、FW井上文(新潟ユース)のラストパスを受けたFW久保裕也(京都U-18)が落ち着いて決めた。後半に入り、日本高校サッカー選抜は60分にFW小牟田洋佑(前橋育英高)が同点ゴール。その4分後には、MF渡辺雅樹(甲府U-18)が正確なシュートを決めて、U-18 Jリーグ選抜が2-1と競り勝った。

U-18 Jリーグ選抜のキャプテンを務めた

2011年2月26日 10時41分キックオフ 日産スタジアム (試合時間70分)

U-18 Jリーグ選抜		2		1		日本高校サッカー選抜	
【得点経過】	33分 1-0 (J)久保 裕也	60分 1-1 (高)小牟田 洋佑	64分 2-1 (J)渡辺 雅樹	【入場者数】	1万6780人	【主審】	岡部 拓人
				【副審】	青山 健太 / 平岡 亮	【第4の審判員】	窪田 陽輔



U-18 Jリーグ選抜の先制ゴールを決めた久保



橋本(右、U-18 Jリーグ選抜)と樋口の競り合い

MF杉本竜士(東京Vユース)は「みんなうまかったのでも何も言わなくても感じ合えるコミュニケーションがあり、楽しくできた」と振り返った。

大東和美 Jリーグチェアマン コメント

本日は、3万5963人という多くのお客さまにご来場いただき、大変素晴らしい試合となった。心より感謝申し上げたい。前半はお互いに硬さが見られたが、後半は見応えのある展開となった。名古屋も鹿島も、90分で決勝をつけたかったのだろうと思うが、PK戦にもつれ込んだ。名古屋が昨年のリーグ戦に続き、FUJI XEROX SUPER CUP 2011を制覇したことをたたえたい。また、NEXT GENERATION MATCHのU-18

Jリーグ選抜 vs 日本高校サッカー選抜も実施した。試合時間前の開催にもかかわらず、1万6780人という大変多くのお客さまに見ていただき、Jリーグや高校生世代に関心を持っていただいていることに、大変驚き、そしてうれしく思った。試合のレベルもそれぞれの特徴を生かし、有意義な内容であった。ぜひ継続して実施していくべきであろう。いよいよ来週はリーグ戦が開幕する。全国のファン・サポーターの皆さま、Jリーグをご支援いただいているすべての皆さまとともに、今シーズンが素晴らしい1年となるよう祈念したい。(コメントの一部)



© J.LEAGUE PHOTOS

さまざまなイベントも大盛況

日産スタジアムの内外では、多彩なイベントが開催され、多くの人々にぎわった。「Jクラブ グルメ大集合!」では、各Jクラブのホームスタジアムで人気のグルメに、長蛇の列ができた。「レディースサッカー体験」には、Jリーグ特命PR部 女子マネージャーの足立梨花さんも参加。Jリーグ選手OB会の福西崇史氏らのコーチを受けて、サッカーを楽しんだ。Enjoyシート購入者には、ピッチ脇など、普段はなかなか訪れることのできない場所を見学できる特典があった。



Jリーグ38クラブビッグフラッグがキックオフ前に登場



Enjoyシート購入者には試合前にピッチ脇への入場という特典も



Jリーグ選手OB会の指導による「ママ&キッズサッカー体験」



「レディースサッカー体験」に参加した足立さん



Jリーグ選手OB会の指導による「ママ&キッズサッカー体験」



Jリーグ杯(優勝銀皿)に見入る子どもたち



Jリーグ新燃岳噴火 災害義援金募金活動も行われた



「Jクラブ グルメ大集合!」は早くから長蛇の列



名古屋のサポーターが山形のグルメを購入。これもクラブ間の交流

2011 J1・J2 38チームの監督の抱負

2011シーズンのJ1リーグ戦、J2リーグ戦は、ともに3月5、6日に開幕。それぞれの覇権を争う38人の監督たちが、戦いを前に抱負を寄せた。



J.LEAGUE DIVISION 1

	ベガルタ仙台 VEGALTA SENDAI	
クラブ スローガン	V shift	
監督の抱負	手倉森 誠 監督	④JLEAGUEPHOTOS
ベガルタ仙台の強みは一体感。Collectiveに闘い攻守に運動したSpeedあふれるサッカーを表現したい。「V shift」というチームスローガンのように、将来ベガルタ仙台がJ1上位に定着するのにふさわしいチームになるための大切な1年である。今年は変わっていく、本気の姿勢を表現する。		

	モンテディオ山形 Montedio YAMAGATA	
クラブ スローガン	「粘強」 NEZZUGU	
監督の抱負	小林 伸二 監督	④JLEAGUEPHOTOS
今年もシーズンが始まりました。モンテディオ山形は、勝点52で7位を目指します！今年は昨年よりあと一歩相手に寄せられるように、そして球際を厳しくし、セカンドボールを取れるポジションを意識させた、最後まであきらめない粘り強いサッカーをお見せしたいと考えています。今年も熱い応援をよろしくお願いします！		

	鹿島アントラーズ KASHIMA Antlers	
クラブ スローガン	A20th FOOTBALL DREAM NEXT	
監督の抱負	オズワルド オリヴェイラ 監督	④JLEAGUEPHOTOS
毎年同じ質問をされ、毎年同じ答えをしている。リーグ制覇が目標であることは変わらない。何事においても謙虚さをもって取り組むこと。それができれば良い結果が得られると思う。今季に向けての自信はありますが、それを明かすよりも、必要な努力をすることが重要だと思う。		

	浦和レッズ Red Diamonds	
クラブ スローガン	TOGETHER FOR THE GOAL	
監督の抱負	ペトロヴィッチ 監督	④JLEAGUEPHOTOS
選手が持っている能力を最大限に引き出し、攻撃的でアグレッシブで、すべての情熱を注ぎ込んだサッカーをしたいと思っています。サッカーの試合は、私たちだけのものではなく、応援に来てくれた方のものであります。我々の情熱のすべてを、応援に来てくれた方々に捧げたいと思います。		

	大宮アルディージャ OMIYA Arisaia	
クラブ スローガン	上昇宣言 ~リスの木登り~	
監督の抱負	鈴木 淳 監督	④JLEAGUEPHOTOS
試合を見に来てくださる方が、楽しく喜んでいただけるようなサッカーを見せたいと思います。攻撃はしっかりとボールを繋ぎ、守備は相手に時間とスペースを与えずにアグレッシブにボールを奪うことを目指し、攻守の運動性を高めます。クラブの目標である勝点50を獲得出来るよう頑張ります。		

	柏レイソル KASHIWA Reysol	
クラブ スローガン	VITORIA	
監督の抱負	ネルシーニョ 監督	④JLEAGUEPHOTOS
昨年までの戦い方をベースに、新加入選手の力を融合して総合力で挑戦したい。同時に、チームに「勝利の文化」を作っていくことを考えている。目標は6位以内。常に上位をキープして、さらに1つでも上の順位を狙っていきたい。		

	川崎フロンターレ KAWASAKI Frontale	
クラブ スローガン	挑	
監督の抱負	相馬 直樹 監督	④JLEAGUEPHOTOS
「挑」。その今年のキャッチフレーズどおりチャレンジするシーズンにします。ピッチ上の選手が生き生きと躍動して輝き、そしてスタジアムが熱く燃えるようなサッカーをしたいです。そのうえで「勝利」にこだわり、サポーターの皆さんと一緒にタイトル奪取にチャレンジしていきます。		

	横浜F・マリノス Yokohama F. Marinos	
クラブ スローガン	進化する心・技・体 ACTIVE2011	
監督の抱負	木村 和司 監督	④JLEAGUEPHOTOS
攻守の切り替えの速さを軸に、常にゴールに向かう意識を高め、速い判断と的確なプレー選択を強調します。日々のトレーニングの質にこだわり、集中力を維持しハードワークを徹底できるチームに鍛えあげたいと考えています。新しい選手が加わり、更に競争力の上昇したチームで「タイトル奪取」にチャレンジします。		

	ヴァンフォーレ甲府 VENTFORET KOFU	
クラブ スローガン	団結 挑戦 飛躍 ~ここから続く、喜びのために~	
監督の抱負	三浦 俊也 監督	④JLEAGUEPHOTOS
甲府の良さである「攻撃力」「アグレッシブさ」「ひたむきさ」をベースに攻守にバランスの取れたサッカーを目指します。J1定着のための1年として今までの戦いに新しい戦術を融合させ、J1の舞台で旋風を巻き起こします。是非、山梨中銀スタジアムにいらしてください。		

	アルビレックス新潟 Albirex NIGATA	
クラブ スローガン	SMILE	
監督の抱負	黒崎 久志 監督	④JLEAGUEPHOTOS
今シーズンのチームスローガンは「AGGRESSIVE&SPEED(アグレッシブ&スピード)」。「粘り強く、最後まで勝利をあきらめないひたむきなスタイルは今も継続。攻守においてアグレッシブな姿勢と、プレーはもちろん、シンキングスピードなど、様々なスピードを追求したダイナミックなサッカーで、AFCチャンピオンズリーグ出場権獲得を目指す。		

	清水エスパルス SHIMIZU S-PULSE	
クラブ スローガン	SPIRIT UP!	
監督の抱負	アフォンソ ゴトビ 監督	④JLEAGUEPHOTOS
全ての選手がどこからでも攻めることと守ることが出来る魅力あるサッカーをし、その中で勝利を重ね、チームを上手く鍛え上げていきたい。今まで優勝に近いところまでいっても、実現できていなかった。今年はタイトルを獲得するという目標で私は招へいされた。同じゴールを目指していきたい。		

	ジュビロ磐田 Júbilo IWATA	
クラブ スローガン	原点回帰 ROAD TO CHAMPION 2011	
監督の抱負	柳下 正明 監督	④JLEAGUEPHOTOS
誠実・謙虚・ひたむきというジュビロマインドと、感謝の気持ち・仲間のためにというジュビロイズムを胸に今年もAFCチャンピオンズリーグ出場権の獲得を目指し、優勝争いに絡みながらチーム力をアップさせていきます。強いジュビロの復活ではなく、新しいジュビロの発出として歴史に残る年とします。		

	名古屋グランパス NAGOYA Grampus EIGHT	
クラブ スローガン	Strong Believin' ~誇りを胸に~	
監督の抱負	ストイコビッチ 監督	④JLEAGUEPHOTOS
昨年のチームをさらに進化させ、Jリーグ2連覇を目指す。最後まであきらめない強い気持ちを持ち、グランパスらしい攻撃的な美しいサッカーを皆さんに見ていただきたいと思ひます。		

	ガンバ大阪 GAMBA OSAKA	
クラブ スローガン	新芯進~新たな未来へ~ 20th Anniversary	
監督の抱負	西野 朗 監督	④JLEAGUEPHOTOS
ガンバは常務を義務付けられているチームなので、上手さ、強さだけではなく、タフなガンバを続けたと思います。昨年、ノタトルで終わりましたが、ノタトルのガンバであってはいけないと思っています。ベースは大きく変わることなく、いいことは継続して、このガンバの歴史の中で築いてきたいい部分を継承し、色々なアプローチで変えていく部分、変わる部分があくまぐらひ合わせ、2011年の新しいガンバ大阪を全員で作っていきたく思います。		

	セレッソ大阪 Cerezo OSAKA	
クラブ スローガン	攻めきる MAX かかげよ 桜冠	
監督の抱負	レヴィー クルビ 監督	④JLEAGUEPHOTOS
今シーズンはチーム初のAFCチャンピオンズリーグ出場もあり、より一層ハードな戦いになると思うが、頂点を目指してリーグ戦を戦っていきたく。昨年、選手たちはどんな高い目標でも、達成は不可能ではないという事を証明してくれた。しっかりと戦力と戦力の補強も行ったので、若い選手の成長も楽しみにしている。		

	ヴィッセル神戸 VISSSEL	
クラブ スローガン	トモニコウ。	
監督の抱負	和田 昌裕 監督	④JLEAGUEPHOTOS
「Speedy&Creative」日々の練習からプレー中の攻守の切り替えや判断において、選手が常にSpeed(速さ)とCreativity(創造性)を意識したサッカーを展開する。クラブ最高順位である9位以上を目指して頑張ります。		

	サンフレッチェ広島 SANFRECCE HIROSHIMA F.C.	
クラブ スローガン	WE FIGHT TOGETHER 2011 奪取!!	
監督の抱負	ペトロヴィッチ 監督	④JLEAGUEPHOTOS
今シーズンはより美しく、魅力的なサッカーを目指します。これまでは無理にリスクを負いすぎ、無駄な失点を重ねてきた。サッカーとは常にミスが起こりうるものだが、その頻度を少なくしたい。目標を語るのは難しいが、リーグでは4位以内、カップ戦でもタイトルを狙いたい。選手達は意欲を持って練習している。間違いなく素晴らしいシーズンになるだろう。		

	アビスパ福岡 Avispa FUKUOKA	
クラブ スローガン	「福岡力」 フクオカチカラ Run with the ALL	
監督の抱負	篠田 善之 監督	④JLEAGUEPHOTOS
「アグレッシブでスピーディーなサッカー」[多くの方々に感動を与えるられるサッカー]を目指し今年も継続して戦っていきます。今年は、J1という新たなステージで、アビスパ福岡の挑戦が始まります。誰にも負けないチャレンジャー精神と結束力で、クラブ・チーム・アビスパに関わるすべての方々と一緒に丸となって挑みたいと思ひます。		

J.LEAGUE DIVISION 2

	コンサドーレ札幌 <i>Consadole SAPPORO</i>	
クラブ スローガン	Challenge for Smile	
監督の抱負	石崎 信弘 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 今年こそJ1昇格を達成するために、攻守において自分たちから積極的に仕掛けていくサッカーで勝ち点を積み重ねていきたいです。会場にきていただいた、たくさんのファン・サポーターの方々より多くの試合で喜びを分かち合えるよう、そしてシーズンの最後に皆さんと共に笑顔で終われるよう頑張ります。	

	水戸ホーリーホック <i>FC Mito Hollyhock</i>	
クラブ スローガン	かけろ。	
監督の抱負	柱谷 哲二 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 90分だけ抜くサッカー、まずはこれが基本となる。そして「かけろ」というチームスローガンの意識、それをチーム全体に浸透させていきたい。また来場されたすべての方に伝える、気持ちのこもった全力のプレーを38試合続けることを忘れず、今季の戦いに臨みたいと思う。	

	栃木SC <i>TOCHIGI SOCCER CLUB</i>	
クラブ スローガン	J1へ	
監督の抱負	松田 浩 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 既存の攻撃陣の残留に加え、トリポジ、河原といった新戦力を獲得し、さらに攻撃力がパワーアップした。3年目の集大成として、戦術的にもより洗練されたサッカーで勝ちにこだわった戦いを狙う。県民の夢であるJ1昇格へ向け全員が全身全霊をかけて戦う。	

	ザスパ草津 <i>THESPA KUSATSU</i>	
クラブ スローガン	跳舞	
監督の抱負	副島 博志 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS グラウンダーのパスワークを主体としたポゼッションと組織的守備で攻守にイニシアチブを握る。全員攻撃・全員守備のバランスのとれたサッカーで観客の心を突き動かしたい。また、昨年の後半の戦いをベースとし、更に成熟させていく。そして、今季も我々のスタイルを「継続」し、新戦力との「融合」を図りスタッフと選手を「信頼」し、チーム一丸となって目標である「J1昇格」を勝ち取りたい。	

	ジェフユナイテッド千葉 <i>JEFF UNITED</i>	
クラブ スローガン	WIN BY ALL!	
監督の抱負	ドワイト 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS まずは何よりもJ1に昇格しなければならない。それには、ピッチ上で相手チームを支配し、そしてサポーターの皆さんを魅了するようなサッカーを目指します。一歩ずつ積み重ねて、選手と対話を重ねながら一つずつ学び、そしてチームとして運動していくようなサッカーになれば素晴らしいことだと思います。また、クラブにとって非常に大事な存在であるサポーターの皆さんともしっかりとコミュニケーションをとり、ともにJ1昇格を目指していきます。	

	FC東京 <i>F.C. TOKYO</i>	
クラブ スローガン	TOKYO SPIRIT ～すべては勝つために～	
監督の抱負	大熊 清 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 今シーズンの目標はJ1に復帰すること。具体的には、選手に自立と向上心を、チームに競争と結束を1年間通して求め続けていきたい。さらに、J1に復帰ということだけでなく、強くなくてJ1に戻り、復活したい。	

	東京ヴェルディ <i>Verdy TOKYO</i>	
クラブ スローガン	原点回帰 ～All for VERDY～	
監督の抱負	川勝 良一 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 昨シーズン、苦しい時を全員で力を合わせて乗り越えてきた。その自信と成長をベースに、今季加入した新しい力に加え、J1昇格を目指す。サイズは小さくても、正確な技術と、味方を思いやる献身的なプレー、そしてチームを応援して下さる全ての皆さまの気持ちを力に変えて、最後まで諦めない戦いを続けます。	

	横浜FC <i>YOKOHAMA FC</i>	
クラブ スローガン	結核 ～KESSEN～	
監督の抱負	岸野 靖之 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 攻撃と守備において、仕掛けるプレーで常に主導権を握るゲームをする。そのために90分間運動量を落とさず、球際を厳しく、粘り強く出し切るプレーを最後までやり続ける。そして、横浜FCに関わる全ての人の力を合わせてJ2で優勝する。シーズンの最後にみんなが横浜FCに来てよかったと必ず言えるチームにする。	

	湘南ベルマーレ <i>Bellmare</i>	
クラブ スローガン	燃燃	
監督の抱負	反町 康治 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 常にゴールを意識した、攻守の切り替えの早いアグレッシブなサッカーを目指します。継続するだけではチームのレベルは上がらないので、アイデアを出しながら新しいことにも積極的に取り組んでいきます。サッカーができる喜びを表現し、エネルギーに戦います。	

	カタレ富山 <i>Kataller Fuyuno</i>	
クラブ スローガン	一歩一歩 ～For the WIN with ALL～	
監督の抱負	安間 貴義 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 「ハードワーク」「切り替えの速さ」「熱を持ってプレーする」ことをチームコンセプトとし、「汗を流してアグレッシブなサッカー」をしていきます。今を大切に！目の前の戦いを一戦一戦、挑み・戦い抜いていきます！	

	FC岐阜 <i>FC GIFU</i>	
クラブ スローガン	共に創る	
監督の抱負	木村 孝洋 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS チーム全員が攻守にわたって、ハードワークをし、速いサッカーを目指したい。クラブが目標として掲げている6位に対して、選手・スタッフ共に目標達成に向けて努力し、一丸となって、闘いたい。	

	京都サンガF.C. <i>KYOTO SANGA F.C.</i>	
クラブ スローガン	change	
監督の抱負	大木 武 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS J1復帰を最優先の目標と捉え、「一度見たらもう一度見たいくなるようなサッカー」を展開し、チャレンジャー精神を忘れずに一試合一試合を全力で戦っていきます。	

	ガイナレ鳥取 <i>GAINARE TOTTORI</i>	
クラブ スローガン	強小参年 飛翔	
監督の抱負	松田 岳夫 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 自分たちからアクションを起こし、全員がボールに関わるアグレッシブなサッカーを目指す。新規加入チームなので最下位スタートの気持ちで常にチャレンジャー精神を持って100%出し切りたい。チームはまだ未成熟なところが多いが、それだけ可能性も秘めている。試合を通して成長していけばチーム目標である「一桁順位」を必ず手に入れることができると確信している。	

	ファジアーノ岡山 <i>FAGIANO Okayama</i>	
クラブ スローガン	100年続くクラブのDNAのために。2011	
監督の抱負	影山 雅永 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 「全員がひたむきに最後までハードワークする」という築き上げてきた土台は、我々の強みです。それをベースに試合を勝ち取るために、状況に合わせて対応できる柔軟性を身に付け、勝負したいと考えています。ひとつでも多くの勝利をあげ、いつも応援してくれるサポーターと一緒に喜びたいと思います。	

	徳島ヴォルティス <i>TOKUSHIMA VORTIS</i>	
クラブ スローガン	KEEP GOING FORWARD ～全力前進～	
監督の抱負	美濃部 直彦 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 徳島ヴォルティスの監督として4シーズン目にあたる今シーズン。過去3シーズンで積み重ねてきたものに磨きをかけて、いよいよ「J1昇格」という大きな目標を掲げた戦いに挑むスタートのシーズンです。アグレッシブな試合をお見せできるよう、強い情熱を持ち、努力を継続することで、ファン・サポーターの方々と共に喜びあえるシーズンにしたいと思います。	

	愛媛FC <i>EHIME FC</i>	
クラブ スローガン	GROW UP EHIME 2011	
監督の抱負	バルバリッチ 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 昨シーズン達成できなかった8位以上を目指す。全選手が持っているものを最大限に引き出していきたい。そして愛媛を代表して戦うことを誇りに持って、ハードワークや強い気持ちを持って、唯一の目標「勝利」に向けて戦う。	

	ギラヴァンツ北九州 <i>Giravanz KITAKYUSHU</i>	
クラブ スローガン	一心	
監督の抱負	三浦 泰年 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 常にクラブ、チームスタッフ、選手の全員が向上心を持って一つに結束し、同じ方向を目指す集団になる。最後まで諦めずにチャレンジし続けるサッカーを90分間通して示せるよう日々のトレーニングから努力し、クラブ一丸となって北九州を盛り上げ、一人でも多くの人々をサッカーの、ギラヴァンツ北九州の虜にしたい。	

	サガン鳥栖 <i>sagantosu</i>	
クラブ スローガン	夢結束	
監督の抱負	伊 晶煥 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 長足のパスを織り交ぜながら、常に攻撃的な姿勢を失わずに、攻守の切り替えを素早く行い、その状況にベストな判断を出来る選手・チームを目指します。同時に、プレーをしている選手はもちろん、見に来て下さる方々が楽しめる試合をお見せしたいと思っています。最後まで諦めない姿勢を持って最善を尽くして戦いたいと思います。	

	ロアッソ熊本 <i>roasso kumamoto</i>	
クラブ スローガン	絆 be Real ～実現～	
監督の抱負	高木 琢也 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 昨シーズン積み重ねてきたものをベースに、チャレンジする攻撃・チャレンジする守備を浸透させ、アグレッシブなサッカーを目指します。また、強い意志を持ってJ1昇格を目指していきたいと思っています。	

	大分トリニータ <i>TRINTA FC OITA</i>	
クラブ スローガン	SORYOKU 戦力×走力	
監督の抱負	田坂 和昭 監督 ©J.LEAGUE PHOTOS 若いチームの「走る」力を鍛え、攻守両面においてアグレッシブなサッカーを目指していきます。目標順位は一桁ですが、一つでも上を狙っていきます。	